



憲法でアクション！！ケアこそ未来を切り拓く

ナース★アクション



vol.28

2025.2.6
全日本民医連
職員育成部

<https://kirarikango.com/>



180人の看護管理者が白衣で国会行動 ～軍事費ではなく、いのちに予算を！～



2月4日(火)ナース★アクション2025国会行動！「厚労省・文科省交渉」⇒「国会内集会」
⇒「地元議員の部屋を訪ねて賛同のおねがい＆現場の声を届ける」の三段階で展開しました。

ふたつの前進回答

☆給付型奨学金の看護職養成校への拡大&紹介業者の実態調査

- ①「給付型奨学金の看護職養成校への拡大については、昨年度より要望をきき認識している。令和8年度以降の支援の拡大にむけ検討させていただきたい」
- ②「高額な紹介業者の実態調査をとの要望については、私自身も含めて厚労省職員が、昨年度から出張して、事業者のほか求人者や労働者に直接対面でヒアリングに取り組んでいる。来年度もできる限り行いたい」



国会内集会には、8人の国会議員から熱烈連帯エール

衆議院厚生労働委員会筆頭理事の井坂議員他5人の立憲民主党議員と、日本共産党からは、民医連看護師出身の倉林明子参議院議員と、先の総選挙で初当選した堀川あき子衆議院議員が駆けつけ、8人から熱烈な連帯のエールが贈られました。参加予定されていた田村貴昭・吉良よし子議員(共産)は委員会の関係で間に合わず。また、れいわ新選組の八幡愛議員からはメッセージが届きました。

倉林議員は、交渉で引き出された国の回答を解説しながら激励。「みなさんの繰り返しの運動の一つの成果。でもまだ一步です。一步に終わらせず、そして来年度といわず今すぐに実現するようひきつづき、声を挙げ変えていきましょう」



賛同議員は、なんと！53人～累計8会派 75人に～ (立憲28人、共産20人、れ新2人、社民1人、無2人)

◎今回の行動では事前に県連で地元議員にアポイントメントを取ってから国会に集まった事で、大きな成果を生み出しました。北海道では地元選出全議員に資料を郵送し地元事務所を訪問するなどして23人も議員と約束でき、9人が賛同してくれました！

